



マークの付いた行事は「石狩市 市民生活便利帖(動画版)」でもご紹介しています。 <http://benri.i-eris.tv/>



マークの付いた行事は「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。 <http://www.i-eris.tv/>

2/8(土)・9(日) 冬の祭りが開催!

石狩の美味しいものをたくさんの人に味わってもらおうという「寒中石狩屋台村」。今年も市役所前広場で開かれ、約5,000人が来場しました。石狩青年会議所が主催するもので、企画者の一人、三津橋智さんは「今年は冬のレジャーランドをテーマに、例年人気の巨大滑り台を2レーンに増やすなど、多くの人に楽しんでもらえるよう工夫しました」。地引網レースや雪中パークゴルフ、スノートレインなども行われ、会場の至る所のにぎやかな声が上がっていました。

Voice

子どもが去年、ビンゴ大会に興味を持ち、今年はずいぶん参加したいということで親子で遊びにきました。今日は寒いので、屋台で温かいものを食べるのも楽しみです。(佐藤いずみさん・渉翔さん・愛央さん)



2/8(土) 浜益でニシン漁

マイナス14℃にまで冷え込んだ朝、「春を告げる魚」ニシンが水揚げされました。この日、浜益区の藤巻漁業部で水揚げされたのは約2トン。港では、刺し網にかかった魚を、傷つかないように1匹1匹丁寧に箱詰めし、出荷していました。漁期は3月上旬まで。今がまさに旬のニシンはスーパーや鮮魚店でも手ごろな値段で並びます。ぜひ皆様のご家庭でもさまざまな料理でニシンをお楽しみください。

Voice

ニシンは空揚げが好きです。お父さんたちは刺し身がおいしいって言っているけど、お母さんが作ってくれる空揚げが一番おいしいよ。(藤巻海成さん)



2/10(月) 新体育館でミニバレー大会

浜益中学校の新体育館で、落成記念行事としてミニバレーボール大会が2回にわたって行われました。第1弾は自主性を育むため生徒会が、第2弾は広く地域の方に参加してもらえるようにと浜益区青少年育成協議会が主催。写真は第2弾の様子で、約50人の浜益区住民が体育館に集まり、熱いプレーを繰り広げました。ピカピカの体育館には参加者たちの元気な声が響き渡り、「学校に体育館が戻ってきた!」という喜びがどの顔にもあふれていました。

Voice

今日の大会は、熱くなりましたよ。この時期、あまり汗をかくことがないんだけど、久しぶりに思う存分楽しめました。(大久保満彦さん)



2/11(火・祝) 冬のレクリエーション!

厚田公園(旧厚田スキー場)を会場に「厚田区ウィンターレクフェスタ」が開催されました。当日は天候に恵まれ、区内外から約200人が来場。スキー回転競技や寒中ビンゴが行われたほか、今年はチューブレースや人間カーリング選手権などの新種目も登場し、大いに盛り上がりを見せました。ジャンボすべり台や、豚汁などが販売された屋台コーナーも人気で、子どもから大人まで皆が一緒になって冬の楽しい1日を過ごしました。

Voice

数年ぶりにスキー回転に参加しましたが、ポールをくぐるのはやっぱり楽しいね。今回は小学生の孫、息子、私と親子三代で出場することができ、久々にハッスルしました。(河合英治さん)





まちの主な出来事を写真で振り返ります。

まちの話題



1/22(水)・23(木) 漁師自ら魚食普及に乗り出す

地元漁師が中心となり、藤女子大学で食物栄養学科の学生を対象に開催された「お母さんの水産教室」。魚食の普及を目指して石狩・後志管内漁業士会が企画したもので、ニシンのさばき方や調理方法を指導しました。特にこの日のニシンは、海水に浸して運ばれた鮮度の良いものだったため、刺し身にするための包丁の入れ方も習い、「小骨が多い魚なのに、とても食べやすい!」と学生たちからは驚きの声が上がっていました。

Voice

けがなく終わって良かったです。皆さんが卒業して、仕事先やお家で、特にお母さんになってから、一食でも多く魚料理を食卓に上げてもらえれば、漁師冥利に尽きます。(石狩湾漁業協同組合 上山稔彦さん)



1/25(土)・2/1(土) 連続講座 石狩大学 博物学部

いしかり砂丘の風資料館の学芸員たちが石狩の海の生物や鮫様信仰、縄文時代の木の容器、石狩鍋の歴史など4つのテーマで、日ごろの研究成果を紹介しました。会場となった市民図書館で参加者たちは実際に珍しい標本に触れてみたり、貴重な写真を見ることで“知られざる石狩”を発見し、とても驚いていました。

Voice

4千年前の木の器は、作り方を再現した復元品も触らせてもらったので、縄文人の苦労が実感できました。学芸員さんの研究成果を、普通の人の目線で紹介してもらえてとても分かりやすかったです。(菅原順子さん)



1/26(日) 石狩市民囲碁大会

毎年、石狩市では囲碁の魅力を知ってもらおうと、市民囲碁大会が開かれています。18回目を迎えた今年の出場者は98人。同大会は、誰でも気軽に参加できるのが特徴で、互い先、ハンデ戦で対局する方式です。性別や年齢に関係なく5クラスに分け、4回対戦する中で順位が決定します。会場のりんくるには“パチン”と碁石を打つ音が静かに響き、参加者は皆、真剣な面持ちで碁盤を見つめていました。

Voice

今年で3回目の参加となりました。知人に勧められて始め、囲碁歴はまだ3年で、今は7級です。4回の対戦は、いずれも接戦が多かったのですが、囲碁の魅力はなんといっても幅広い年代の方と楽しめる場所ですね。(佐藤安里沙さん)



2/3(月) 鬼は外! 福は内!

聚富保育園で、恒例となっている節分の豆まきが今年も行われました。園児たちはそれぞれ豆を片手に鬼を待っていると、突然、太鼓の音が鳴り響き、鬼が登場! 思わず驚いて泣き出す子、あわてて逃げ出す子などいましたが、最後は全員声を合わせて「おには～そと～、ふくは～うち～!」と一生懸命に豆をまき、無事鬼を退治することができました。

Voice

みんなで鬼に豆を投げ、青鬼をやっつけることができて楽しかった。

(左から 北森晴大さん/齋藤真心さん)

